

## 届出書記入例

楷書で丁寧に書いてください。

記入すべき事項がない欄については、「該当なし」と記載するか、斜線で消してください。

土地に関する権利が共有に係るものであるときは、代表とする方の住所及び氏名を記入するとともに、「他〇名」と記入し、別紙に共有者全員の住所及び氏名を記入し押印してください。

法人にあってはその名称及び代表者の氏名を記入し、代表者の職名印を押印してください。

該当する取引の形態に丸印を記入してください。

地番ごとに記載し、記載しきれない場合は、別紙を用いて同様に記入してください。

住宅、倉庫、杉林等の別を記入してください。

工作物の場合は延べ面積、構造、使用年数を記入してください。

木竹にあっては、本数樹種、樹齢を記入してください。

売買、交換等の登記原因を記入してください。

地目及び単価が同じ場合は、まとめて記入してください。

実測による面積の増減によって対価が精算される  
契約であるかどうかについて、丸印を記入してく  
ださい。

住宅、工場、商業施設等の用途を可能な限り詳細に記入してください。

利用目的に係る土地の面積に占める樹林地、草地、水辺地、砂地等（庭園、植栽を除く。）以外の土地面積を現況と計画に分けて記入してください。

開発許可等の法的審査等の状況を記入してください。

この書類の提出日を記入してください。

該当する業種に丸印を記入してください。なお、2つ以上該当する場合は、主な業種1つのみとしてください。

契約の相手方の住所・氏名を記入してください。  
「氏名」欄は、法人にあっては、その名称及び代  
表者の氏名を記入してください。

✓届出に係る土地売買等の契約を締結した年月日を記入してください。

✓ 登記簿に記載された地目記入してください。

、現況に応じた地目を記入してください。

※ 実測取引の場合に記入してください。実測を伴わない場合は記入不要です。

届出の土地に売買時に存する地上権、地役権、賃借権、抵当権、質権等がある場合にのみ記入してください。

ただし、共有者の一部がその者の共有持分のみを移転する場合は記入してください。

—地上権又は賃借権の登記の有無、地代の変更に  
ついての協議の期限の特約、原状回復義務の有無、  
定期借地権等について記入してください。

① 山林の取引で、土地代と立木代を一体で契約する場合は、この欄に「立木代含む」と記入してください。

＝対価額 ÷ 面積  
(円未満は四捨五入)

①今回届出の土地のみで利用する場合は届出の面積を、隣接地を併合して利用する場合は併合後の合計面積を記入してください。

一住宅団地における想定人口を記入してください。